



学校だより

逢う地

お・・・思いやりのある学校
う・・・美しさに満ちた学校
ち・・・力を伸ばす学校

恕・克己・感謝の心を持ち、生き抜く力を身に付けた生徒の育成

R4. 4. 6. 第1号 相知中学校 校長室

学校教育目標

恕・克己・感謝の心を持ち、生き抜く力を身に付けた生徒の育成

4月には珍しく晴天が続き、桜はらはらと舞い散る、春本番を迎えました。生徒の皆さんも新年度を迎え希望に満ちて、心躍らせていることと思います。

昨年も、新型コロナウイルス感染防止のために、様々な場面で不自由さを感じる場面や、我慢を強いられることがたくさんありました。それでも、生徒の皆さんは、そうした状況にしっかりと対応し、自分を成長させてきました。新型コロナウイルスの感染はまだまだ油断できる状況ではありません。昨年度同様、今年度も保護者の皆様や地域の皆様の力をお借りしながら、相知中教職員一同、心を一つにして、生徒の安全安心を確保しつつ、生徒の皆さんの「学び」を支援し、将来幸せに生き抜く力を身に付ける指導を行っていく所存です。ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年度の学校教育目標です。私が赴任して以来一貫して冒頭の学校教育目標を掲げ、本校の教育を進めています。これまでも始業式や全校朝会など、事あるごとに「恕(じょ)」「克己」「感謝」の心について話をしました。生徒たちは、その心についてしっかりと理解できていると感じています。

4月1日の朝、野球部の生徒が、野球部の伝統ですと言って学校玄関周辺の掃除をしていました。また、新2年生の平田空君は、修了式の後や春休み中に体育館の渡り廊下や学校玄関に散り敷いた落ち葉を一人で黙々と掃除してくれていました。こうした何の見返りも求めない無償の行為を自らできる生徒に育ててほしいというのがこの学校教育目標に込めた願いです。

今後とも、保護者、地域の皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

転任者の紹介・よろしくお願いいたします

今年度の異動についてお知らせします。新たに5人の転入者を迎えることになりました。転出者同様ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

教諭	富川 貴弘	新規採用(数学)
教諭	山口 泰勢	新規採用(社会)
教諭	濱崎 豊治	再任用(初任研指導)
養護教諭	浦田 麻也乃	配置換 第五中より
主査	中嶋 真也	転入 唐津青翔高より

また、中島奈津美教諭が育児休業から復帰しました。

更に、昨年度も在籍した、脇山景治先生、大武節雄先生が、初任研指導で継続勤務となります。



「恕」について

「恕」とは、2500年前の孔子の言葉です。
大切にしたいところです。

(孔子の弟子の)子貢がたずねて言った、
「ただひとことで、一生行ってゆくに値することばが
ありましようか」と。

(孔)子曰く、
「それはまず、恕(すなわち思いやりの心)だろうな。
(恕というのは自分が(人から)されたくないことは、
人にもしてはならない(ということだよ)」と。

(『論語』・旺文社)

このことから、一歩進めて、相手の気持ちに寄り添って、言葉をかけたり、行動したりできるような、思いやりの心を持ってほしいと願っています。